



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月26日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8014 URL https://www.chori.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀨 一夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	60,671	23.8	2,562	—	2,876	—	2,267	—
2021年3月期第1四半期	49,004	—	△890	—	△695	—	△1,185	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 3,014百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 △1,569百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	92.16	—
2021年3月期第1四半期	△48.30	—

(注) 2021年3月期第1四半期売上高の対前年同四半期増減率は、2021年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	120,002	60,980	50.8
2021年3月期	110,591	58,831	53.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 60,939百万円 2021年3月期 58,795百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	23.00	37.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	42.00	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	29.5	9,500	159.3	10,000	114.8	6,800	445.2	276.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社スミテックス・インター、除外 1社(社名)  
ナショナル

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	25,303,478株	2021年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	703,294株	2021年3月期	703,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	24,600,195株	2021年3月期1Q	24,555,828株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大長期化の影響を受け、経済活動も引き続き一定の制限を強いられました。

日本経済は、自動車産業などの製造業を中心に一部で持ち直しを見せたものの、3度目となる緊急事態宣言の発出の影響等により、衣料分野等は引き続き低迷しました。世界経済は、中国では他国に先駆けて経済回復が進み、欧米諸国ではワクチン接種の進展に伴い経済活動正常化に向けた動きが加速する一方で、東南アジアの複数の国々では感染が再拡大し、経済活動正常化への道筋は見えておりません。また、米中貿易摩擦の影響やコンテナ不足による物流停滞などの要因も加わり、先行は依然不透明な状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、2020年5月29日に発表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」に基づき、激変する社会・経済環境へ即応すべく、リスク管理を始めとした「守り」の施策を一層徹底する一方、持続的成長のための基本戦略を推進しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比23.8%増の606億71百万円となりました。利益面では、増収効果や、前年同期には中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額24億74百万円を販売費及び一般管理費に計上したことの反動により、営業利益は25億62百万円（前年同期は8億90百万円の営業損失）、経常利益は28億76百万円（前年同期は6億95百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億67百万円（前年同期は11億85百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	49,004	60,671	11,667	23.8
営業利益又は営業損失(△)	△890	2,562	3,452	—
経常利益又は経常損失(△)	△695	2,876	3,572	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,185	2,267	3,453	—

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 繊維事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	20,033	21,046	1,012	5.1
経常利益	430	870	439	102.0

当セグメントにおきましては、合繊原料や衛生材等の素材分野が堅調に推移した結果、売上高は、前年同期比5.1%増の210億46百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、経費削減も加わり、前年同期比102.0%増の8億70百万円となりました。

② 化学品事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	28,449	38,724	10,274	36.1
経常利益又は経常損失(△)	△1,290	1,784	3,075	—

当セグメントにおきましては、ファインケミカル分野等が引き続き堅調に推移し、バルク商材の有機化学品分野でも市況の回復が見られたことにより、売上高は、前年同期比36.1%増の387億24百万円となりました。利益面につきましては、増収効果に加え、前年同期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額24億74百万円を販売費及び一般管理費に計上したこと（当期の計上なし）の反動により、17億84百万円のセグメント利益（経常利益）（前年同期は12億90百万円のセグメント損失（経常損失））となりました。

③ 機械事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	505	883	378	74.9
経常利益	102	239	137	134.8

当セグメントにおきましては、欧米州・アフリカ等における自動車等需要の回復の影響等を受け、売上高は、前年同期比74.9%増の8億83百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比134.8%増の2億39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,200億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億10百万円増加しました。これは株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に商品及び製品が42億72百万円増加、受取手形及び売掛金が38億2百万円増加、のれんが16億73百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、590億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億62百万円増加しました。これは株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に短期借入金が51億18百万円増加、支払手形及び買掛金が18億21百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、609億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億48百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により22億67百万円増加、為替換算調整勘定が8億53百万円増加、配当金の支払いにより5億65百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,828	17,895
関係会社預け金	3,000	—
受取手形及び売掛金	56,141	59,943
商品及び製品	10,665	14,938
仕掛品	816	626
原材料及び貯蔵品	4	3
未着商品	751	897
その他	4,442	4,829
貸倒引当金	△114	△121
流動資産合計	90,537	99,012
固定資産		
有形固定資産	2,493	2,233
無形固定資産		
のれん	491	2,165
その他	335	426
無形固定資産合計	827	2,591
投資その他の資産	16,733	16,164
固定資産合計	20,054	20,990
資産合計	110,591	120,002
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,622	41,443
短期借入金	1,809	6,928
1年内返済予定の長期借入金	113	113
未払法人税等	1,703	832
賞与引当金	686	325
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,119	5,660
流動負債合計	48,097	55,346
固定負債		
長期借入金	358	330
繰延税金負債	955	883
退職給付に係る負債	2,254	2,334
その他	94	128
固定負債合計	3,662	3,676
負債合計	51,759	59,022

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,792	1,792
利益剰余金	49,903	51,302
自己株式	△698	△698
株主資本合計	57,798	59,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,663	1,630
繰延ヘッジ損益	138	59
為替換算調整勘定	△705	148
退職給付に係る調整累計額	△99	△95
その他の包括利益累計額合計	997	1,742
非支配株主持分	36	40
純資産合計	58,831	60,980
負債純資産合計	110,591	120,002

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	49,004	60,671
売上原価	42,937	53,853
売上総利益	6,066	6,818
販売費及び一般管理費	6,957	4,256
営業利益又は営業損失(△)	△890	2,562
営業外収益		
受取利息	18	63
受取配当金	64	186
持分法による投資利益	30	43
為替差益	49	—
債務勘定整理益	10	13
雑収入	83	104
営業外収益合計	258	411
営業外費用		
支払利息	34	22
手形売却損	9	25
為替差損	—	25
雑支出	18	22
営業外費用合計	62	96
経常利益又は経常損失(△)	△695	2,876
特別利益		
固定資産売却益	0	316
関係会社株式売却益	—	18
投資有価証券売却益	15	0
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	17	336
特別損失		
関係会社整理損	—	15
固定資産処分損	0	0
投資有価証券売却損	21	—
特別損失合計	21	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△699	3,197
法人税、住民税及び事業税	448	930
法人税等調整額	93	△1
法人税等合計	541	928
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,241	2,268
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,185	2,267

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,241	2,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	△33
繰延ヘッジ損益	△48	△79
為替換算調整勘定	△385	700
退職給付に係る調整額	3	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△162	153
その他の包括利益合計	△328	746
四半期包括利益	△1,569	3,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,511	3,012
非支配株主に係る四半期包括利益	△58	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,033	28,449	505	48,988	15	49,004	—	49,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	115	115	△115	—
計	20,033	28,449	505	48,988	130	49,119	△115	49,004
セグメント利益 又は損失(△)	430	△1,290	102	△757	5	△752	56	△695

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額56百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益又は損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,046	38,724	883	60,654	17	60,671	—	60,671
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	112	112	△112	—
計	21,046	38,724	883	60,654	129	60,784	△112	60,671
セグメント利益	870	1,784	239	2,894	11	2,906	△29	2,876

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△29百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社スミテックス・インターナショナルの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維事業」のセグメント資産が9,652百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「繊維事業」セグメントにおいて、株式会社スミテックス・インターナショナルの株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,745百万円であります。

また、当該金額は暫定的に算定された金額であります。